

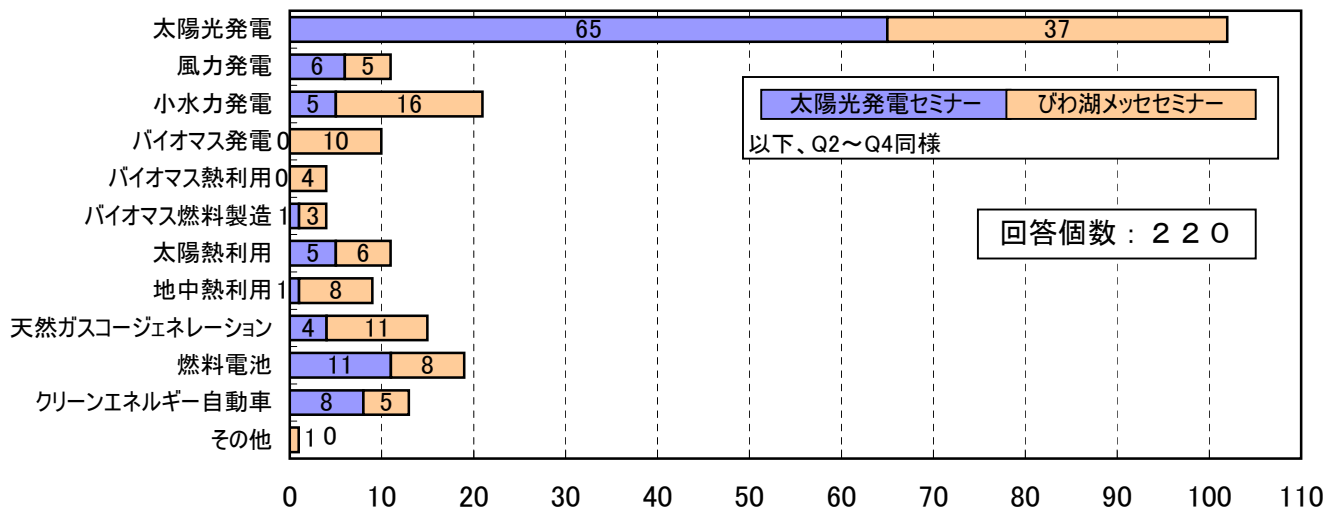
# 「滋賀県再生可能エネルギー振興戦略プラン」に係る 企業向け意見交換会アンケート調査結果 (H24. 10末時点)

【実施状況】以下のセミナー参加者を対象に実施

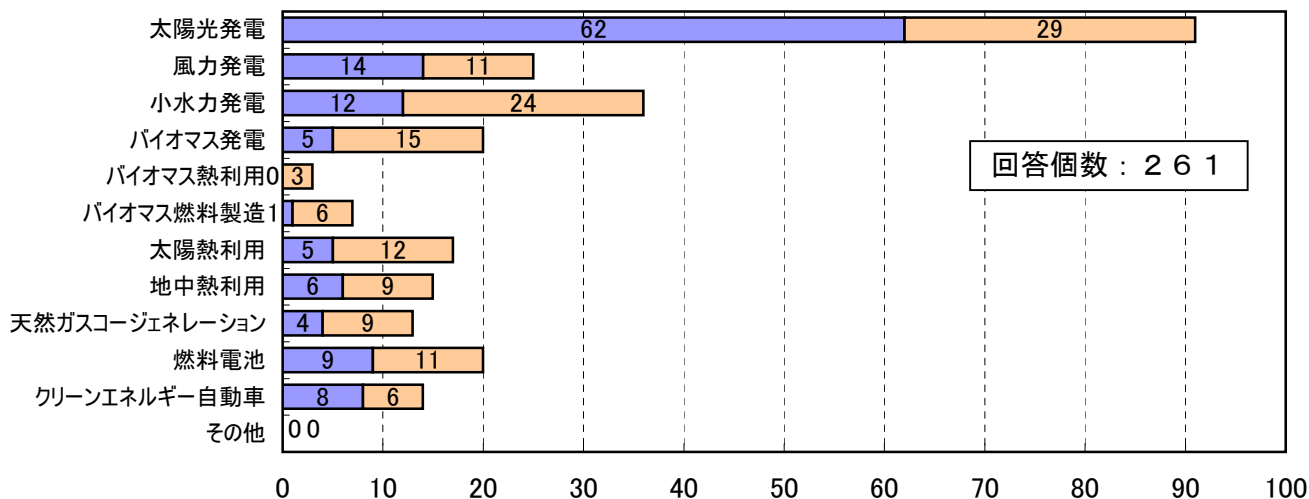
平成24年10月17日(水) 太陽光発電セミナー(滋賀銀行との共同開催) 回答数: 71件

平成24年10月24日(水) びわ湖環境ビジネスメッセセミナー 回答数: 44件

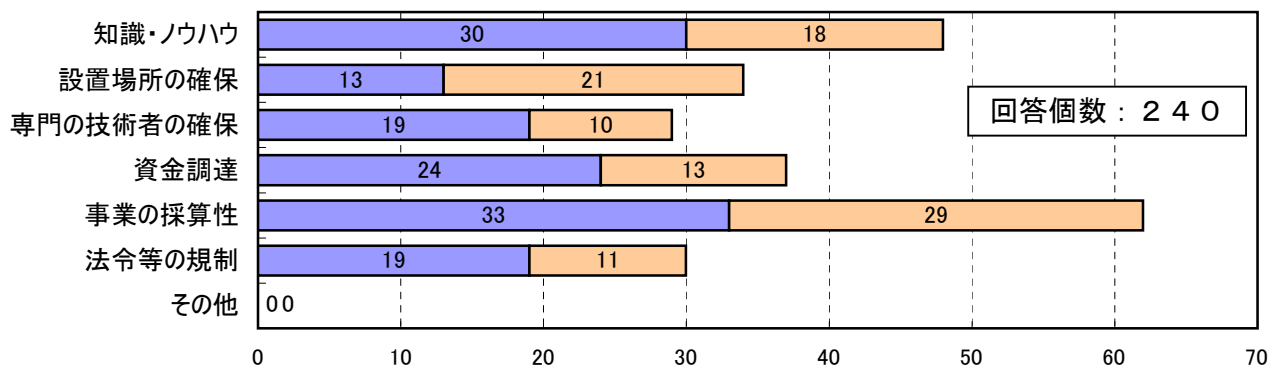
Q1 貴社は再生可能エネルギー等の導入にご関心がありますか。貴社が関心を持っておられる再生可能エネルギー等について、当てはまるものを全て選び、番号に○印をつけてください。(複数回答可)



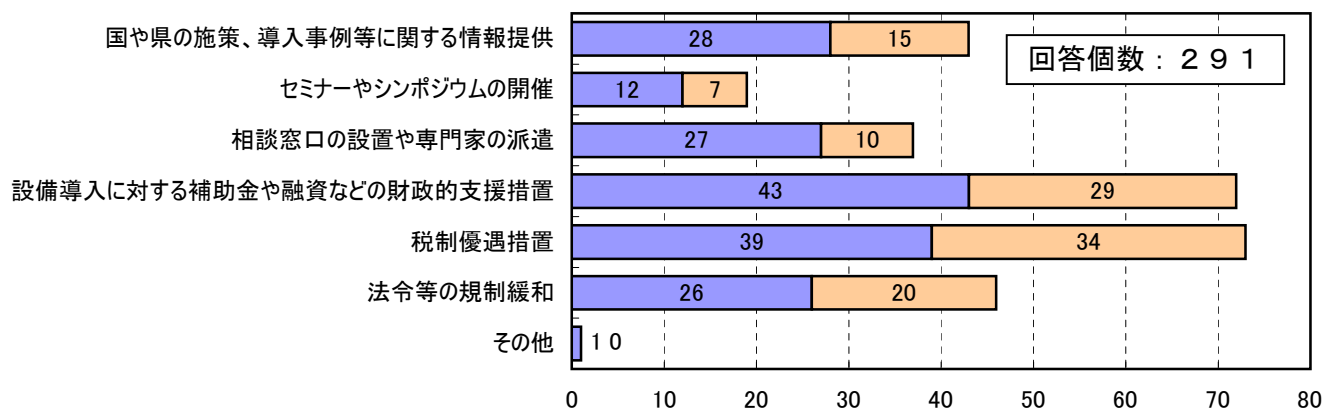
Q2 今後、滋賀県での再生可能エネルギー等の導入促進に向けて、どのエネルギー利用を増やすべきだと思いますか。当てはまるものを全て選び、番号に○印をつけてください。(複数回答可)



Q3 貴社が再生可能エネルギー等を導入する場合、どのような課題が想定されますか。当てはまるものを全て選び、番号に○印をつけてください(複数回答可)



Q 4 事業者が再生可能エネルギー等を導入する場合、行政はどのような対策を進めるべきだと思いますか。当てはまるものを全て選び、番号に○印をつけてください。（複数回答可）



Q 5 「滋賀県再生可能エネルギー振興戦略プラン」策定に向けてのご意見・ご要望、再生可能エネルギー等の活用に関するアイデアやご意見を自由に記載してください。

#### 太陽光発電セミナー

- ・ 動きがわかりにくい。もっと県民、市民、地域の一人一人が興味をもてるよう宣伝が必要では。
- ・ 地域振興に役立てるため、各地域の特色を生かせるエネルギープランを提案（山地－水力 平野－太陽光 農業、畜産－バイオマス）してほしい。
- ・ 県民、県内事業者への啓発活動が重要。
- ・ 低炭素社会、地域産業活性化、地域雇用安定化等に引き続き取り組んでいただきたい。また、地域循環型社会に向けた支援もお願いしたい。
- ・ 今後10kW以上50kW未満の太陽光システム導入が増加すると思う。（理由：全量買取で、保安員の選任が不要でイニシャルコストも手ごろなため。それに伴う補助金を。）
- ・ 県の住宅太陽光設備への補助制度について、追加予算の検討を願う。
- ・ 県独自の補助金、融資、税制優遇を実施していただきたい。今年度の売電価格はメリットの高い設定だが、来期以降条件が見直しされると設置予定者が減る恐れもあるため、今の条件から悪くなった時には実施してもらいたい。
- ・ 農地についてもソーラーを設置できるように条件を緩和してほしい。
- ・ 手続きの簡素化、スピード化を望む。

#### 琵琶湖環境ビジネスメッセ同時開催セミナー

- ・ 同様のプランは各地で進められていることから、特に滋賀県らしいプランとなるように期待。
- ・ 琵琶湖を活用した方法を考える。滋賀は湖をいうイメージが大きい。
- ・ 振興プランについて企業に対して認識が弱い。もっと企業の意見を聞くべき。
- ・ 滋賀県または日本に適した再生エネルギーの利用方法について、もっと情報を地域に発信していく事を期待。
- ・ 市民参加型の経済振興に長期にわたって役立つしくみが必要。
- ・ 農業と再エネの組み合わせを考える。
- ・ 工場の余った土地の有効利用という事で、「ソーラーパネル設置の土地にする」という考え方は賛成。もっと積極的に事業所（者）に呼びかけるべき。
- ・ 太陽熱温水装置について前向きな取り組みを願う。
- ・ バイオマスについては下水処理等から進める事がよい。また、神戸市等では既に下水処理から取り出したガスを落としガスラインに供給している。
- ・ 琵琶湖の湖面を利用した風力発電および太陽光発電の推進。ただし景観に注意すること。
- ・ 風力の利用が進まない滋賀では、プロペラ式の発電機ではなく円筒型竿風向自由な方式での利用はできないのか。
- ・ 海洋資源、特に日本海（シェールオイル、メタンハイドレートなど）に期待。滋賀県には海岸がないが、周辺機器で寄与できるのではないかと。
- ・ 法令上の制約があるが、農地（特に耕作放棄地）の有効活用による再生可能エネルギー創出策を講じる必要があると思う。柔軟な農地の活用方法を見出す時期にきているのではないかと。
- ・ 外観などの規制が厳しい場合があり再生可能性エネルギーに取り組もうとする障害となっている。また、初期費用の高さも問題である。
- ・ 各条例・法令などにより規制されることが多いので、これの「緩和」を進めていかなければならない。